

MAKE THE
WORLD SEE

Milestone Systems

XProtect® Access 2023 R3

システム管理者マニュアル



目次

著作権、商標、および免責条項	3
サポートされるVMS製品とバージョン	4
概要	5
XProtect Access（説明付き）	5
ライセンス	6
XProtect Accessライセンス	6
ライセンスの詳細を検索	6
設定	7
統合されたアクセスコントロールシステムを設定する	7
アクセスコントロールシステム統合ウィザード	7
アクセスコントロールシステム統合の作成	8
アクセスコントロールシステムへの接続	8
関連のあるカメラ	8
サマリー	8
入退室管理プロパティ	9
一般設定タブ（入退室管理）	9
ドアと関連付けられたカメラタブ（入退室管理）	10
入退室管理イベントタブ（入退室管理）	11
アクセスリクエスト通知タブ（入退室管理）	12
カードホルダータブ（入退室管理）	13
設定アクセスリクエスト	14

著作権、商標、および免責条項

Copyright © 2023 Milestone Systems A/S

商標

XProtectはMilestone Systems A/Sの登録商標です。

MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。AndroidはGoogle Inc.の商標です。

本文書に記載されているその他の商標はすべて、該当する各所有者の商標です。

免責条項

本マニュアルは一般的な情報を提供するためのものであり、その作成には細心の注意が払われています。

この情報を使用することにより発生するリスクはすべて、使用者が負うものとします。また、ここに記載されている内容はいずれも、いかなる事柄も保証するものではありません。

Milestone Systems A/Sは、事前の通知なしに変更を加える権利を有するものとします。

本書の例で使用されている人物および組織の名前はすべて架空のものです。実在する組織や人物に対する類似性は、それが現存しているかどうかにかかわらず、まったく偶然であり、意図的なものではありません。

この製品では、特定の規約が適用される可能性があるサードパーティー製ソフトウェアを使用することがあります。その場合、詳細はMilestoneシステムインストールフォルダーにあるファイル3rd_party_software_terms_and_conditions.txtを参照してください。

サポートされるVMS製品とバージョン

このマニュアルでは、次のXProtectVMS製品によりサポートされる機能を説明します。

- XProtect Corporate
- XProtect Expert
- XProtect Professional+
- XProtect Express+
- XProtect Essential+

Milestoneは、XProtectVMS製品の現行のバージョンと以前の2つのバージョンを使用して、本書に記載されている機能をテストします。

新しい機能が現在のリリースバージョンでのみサポートされており、以前のリリースバージョンではサポートされていない場合は、機能の説明にこれに関する情報が記載されています。

下記の販売が終了したXProtectVMS製品でサポートされているXProtectクライアントと拡張機能のドキュメントは、Milestoneダウンロードページ (<https://www.milestonesys.com/downloads/>) にあります。

- XProtect Enterprise
- XProtect Professional
- XProtect Express
- XProtect Essential

概要

XProtect Access（説明付き）



XProtect Accessを使用する場合、XProtectシステムでこの機能の使用を許可する基本ライセンスを購入しておく必要があります。また、制御する各ドア用のアクセスコントロールドライセンスも必要です。



XProtect Accessに対するベンダー固有のプラグインが存在するベンダーの入退室管理システムで、XProtect Accessを使用することができます。

入退室管理統合機能には、XProtectとお客様の入退室管理システムを簡単に統合できる新機能が含まれています。
特長：

- XProtect Smart Client内の複数の入退室管理システムを操作できる共通のユーザーインターフェイス。
- 入退室管理システムをより素早く強力に統合
- オペレータ向けに追加された機能（以下を参照）。

XProtect Smart Clientでは、オペレータは以下の機能を使用できます。

- アクセスポイントでのイベントのライブ監視
- オペレータによるアクセスリクエストの受理
- マップの統合
- 入退室管理イベントのアラーム定義
- アクセスポイントでのイベントの調査
- ドアの状態の一元化された概要とコントロール
- カードホルダー情報と管理

監査ログは、XProtect Smart Clientからの入退室管理システムで各ユーザーが実行するコマンドを記録します。

統合を開始するには、XProtect Access基本ライセンス以外にも、ベンダー特有の統合プラグインがイベントサーバーにインストールされている必要があります。

ライセンス

XProtect Accessライセンス

XProtect Accessは、以下のアクセスコントロール関連ライセンスを必要とします。

- 無制限台数のアクセスサーバーをカバーするXProtect Accessのベースライセンス1件。
- XProtect Accessで統合および制御する各ドアごとのアクセスコントロールドアライセンス1件。XProtect Access製品をインストールすると、すべてのドアライセンスが自動インストールされます。



インストールしたドアライセンスはデフォルトで無効化されています。使用するドアを有効に設定する必要があります。所有しているドアライセンスの数だけ、ドアを有効に設定できます。

例

10個のドアを追加することを希望していますが、5つしかアクセスコントロールドアライセンスがありません。最初の5つのドアを追加すると、それ以上ドアを選択できなくなります。別のドアを追加する前に、一部のドアを削除する必要があります。

例

アクセスポイントが2か所（入口のカードリーダーと出口のカードリーダー）あるドアが1つあります。ドア1つにつきアクセスコントロールドアライセンスが1つ必要なため、このシナリオでは、アクセスコントロールドアライセンスが1つ必要になります。

ライセンスの詳細を検索

アクセスコントロールドアライセンスの現在のステータスを確認するには、**アクセスコントロールノード**を開きます。

追加のXProtect Access基本ライセンスまたはドアライセンスを購入するには、ベンダー。

設定

統合されたアクセスコントロールシステムを設定する

要件

- 必要なXProtect Accessライセンスを購入済み
 - イベントサーバーにご利用のアクセスコントロールシステム固有の統合プラグインがインストール済み
1. XProtectシステムに、統合されたアクセスコントロールシステムを追加します。[7ページのアクセスコントロールシステム統合ウィザード](#)を参照してください。ウィザードの指示に従って、基本的な手順を実行してください。
 2. アクセスコントロールシステム統合の追加のプロパティを指定します。特に、アクセスコントロールイベントでは、XProtectによって認識されるイベントカテゴリを使用するアクセスコントロールシステムからイベントをマップする必要がある場合があります。[9ページの入退室管理プロパティ](#)を参照してください。
 3. XProtect Smart Clientのアクセスコントロール機能を使用するには、アクセス許可がある役割を作成する必要があります。
 4. また、この役割をSmart Clientのプロファイルと関連付ける必要もあります。
 5. システムには、アクセスが拒否された場合に、XProtect Smart Client画面にアクセスリクエスト通知を表示するデフォルトルールが提供されています。アクセスリクエスト通知は追加および編集が可能です。アクセスリクエスト通知（プロパティ）を参照してください（[12ページのアクセスリクエスト通知タブ（入退室管理）](#)を参照）。
 6. アクセスコントロールシステムからのアクションおよびイベントを基に追加のルールを作成できます。
 7. 必要な場合は、**オプション>アクセスコントロール設定**で全体的なアクセスコントロール設定を変更します。

アクセスコントロールシステム統合ウィザード

入退室管理システム統合作成ウィザードでは、入退室管理システムの初期統合を段階的に設定します。ウィザードを使用して、基本的な設定作業を行うことができます。後日に、さらに詳細な設定を行うことができます。

アクセスコントロール統合ウィザードを開始する前に、イベントサーバーに統合プラグインがインストールされていることを確認してください。

フィールドへの入力値とそのデフォルト値は、統合プラグインから継承されます。このため、ウィザードの外観は、統合されるアクセスコントロールシステムによって異なる場合があります。

ウィザードを開始するには、ノードツリーで**アクセスコントロール**を選択し、右クリックして、**新規作成**をクリックします。

アクセスコントロールシステム統合の作成

追加したいアクセスコントロールシステムの名前を入力し、その接続の詳細を指定します。どのパラメータを指定する必要があるかはシステムのタイプに応じて異なりますが、通常はアクセスコントロールシステムサーバーのネットワークアドレスと、同システムの管理者ユーザー名とパスワードが対象となります。

設定を取得するためにアクセスコントロールシステムにログインする際、ビデオ管理システムは、指定したユーザー名とパスワードを使用します。

また、統合プラグインでは、ウィザードでリストされないセカンダリパラメータを定義することもあります。これらは統合を設定した後に **一括設定** で変更することができます。パラメータのデフォルト値は、プラグインまたはXProtectシステムによって入力されます。

アクセスコントロールシステムへの接続

プラグインが正常に統合されると、取得されたアクセスコントロールシステムの設定の概要が表示されます。ウィザードの次のステップに進む前に、このリストにすべてのアイテムが統合されていることを確認します。

関連のあるカメラ

アクセスコントロールシステムのアクセスポイントをXProtectシステムのカメラとマッピングし、イベントに対してドアからの関連ビデオを表示します。

また、複数のカメラを単一のアクセスポイントにマッピングすることもできます。これによりXProtect Smart Clientユーザーは、たとえばイベント調査時などに、すべてのカメラからのビデオを表示できるようになります。

さらに、XProtect Smart Clientユーザーは、**アクセスモニター**の表示アイテムを設定するときに、いずれかのカメラを追加することもできます。

ライセンスを付与されているドアは、デフォルトで有効になっています。ドアを無効にし、アクセスコントロールドアライセンスを解除するにはチェックボックスをオフにしてください。

サマリー

デフォルト設定を統合プラグインから継承したアクセスコントロールシステム統合が、XProtectで正常に作成されました。新しいアクセスコントロールシステムを表示および使用するには、クライアントユーザーはXProtect Smart Clientにログインする必要があります。

必要に応じて、この構成を調整できます。

入退室管理プロパティ

一般設定タブ（入退室管理）

名前	説明
有効	<p>システムはデフォルトで有効に設定されています。つまり、システムはXProtect Smart Clientで十分な権限を持つユーザーに対して表示され、入退室管理イベントはXProtectシステムによって受信されます。</p> <p>メンテナンス中などにシステムを無効にして、不要なアラームが作成されるのを避けることができます。</p>
名前	入退室管理統合の名前が、そのままManagement Applicationやクライアントで表示されます。既存の名前を、新しい名前の上書きすることができます。
説明	入退室管理統合の説明を提供します。これはオプションです。
統合プラグイン	最初の統合で選択した入退室管理システムのタイプを示します。
最後の設定更新	入退室管理システムから最後にインポートした日付および時刻を示します。
設定の更新	<p>ドアの追加や削除など、XProtectの入退室管理システムで行った変更を反映させる必要がある場合には、このボタンをクリックします。</p> <p>入退室管理システムからの設定変更の概要が表示されます。新しい設定を適用する前に、リストを確認して、入退室管理システムに正しく反映されるようにします。</p>
オペレータのログインが必要	<p>入退室管理システムが異なるユーザー権限をサポートしている場合、クライアントのユーザーに対して追加ログインを有効に設定します。このオプションを有効にする場合は、XProtect Mobileクライアントは入退室管理システムを使用できません。</p> <p>統合プラグインが異なるユーザー権限をサポートしている場合のみ、このオプションが表示されます。</p>

以下のフィールドの名前や内容は、統合プラグインからインポートされます。以下は典型的なレイアウトの例です。

名前	説明
アドレス	統合された入退室管理システムをホストするサーバーのアドレスを入力します。
ポート	入退室管理システムが接続するサーバーのポート番号を指定します。
ユーザー名	入退室管理システムで定義されている、XProtectの統合システムの管理者となるユーザーの名前を入力します。
パスワード	ユーザーのパスワードを指定します。


ドアと関連付けられたカメラタブ（入退室管理）

このタブでは、ドアのアクセスポイントとカメラ、マイク、スピーカーの間のマッピングを提供します。カメラは統合ウィザードの一部として関連付けますが、設定はいつでも変更することができます。マッピングには、カメラに関連付けられたマイクやスピーカーを通じて、マイクやスピーカーも必然的に含まれます。

名前	説明
ドア	<p>入退室管理システムで定義されている、使用可能なドアのアクセスポイントをドア別にグループ化してリストします。</p> <p>関連するドアへのナビゲーションを容易にするため、入退室管理システムで上部にあるドロップダウンリストボックスを使用し、ドアをフィルターできます。</p> <p>有効：ライセンスを付与されているドアは、デフォルトで有効になっています。ドアを無効にして、ライセンスを解放することができます。</p> <p>ライセンス：ドアのライセンスが有効であるか、ライセンスが有効期限切れであるかを示します。ドアが無効であれば、このフィールドは空白です。</p> <p>削除：削除をクリックすると、アクセスポイントからカメラを削除します。すべてのカメラを削除すると、関連するカメラのチェックボックスが自動的にクリアされます。</p>
カメラ	<p>XProtectシステムで設定されているカメラを一覧表示します。</p> <p>リストからカメラを選択し、該当するアクセスポイントにドラッグ&ドロップして、カメラとアクセスポイントを関連付けます。</p>

入退室管理イベントタブ（入退室管理）

イベントをグループ化できるイベントカテゴリです。イベントカテゴリの設定は、XProtectシステムの入退室管理の動作に影響を与えます。例えば、複数のタイプのイベントでの単一のアラームのトリガーを定義することができます。

名前	説明
入退室管理イベント	<p>入退室管理システムからインポートした入退室管理イベントを一覧表示します。統合プラグインが、デフォルトでのイベントの有効化や無効化をコントロールします。イベントは、統合後にいつでも有効または無効にできます。</p> <p>イベントが有効化されると、XProtectのイベントデータベースに保存され、XProtect Smart Clientでのフィルターなどに使用可能となります。</p>
ソースタイプ	<p>入退室管理イベントをトリガーできる入退室管理ユニットを表示します。</p>
イベントカテゴリ	<p>入退室管理イベントに、「なし」、「1つ」、「複数」のイベントカテゴリのいずれかを割り当てます。システムは、統合中に関連するイベントカテゴリを自動的にイベントにマッピングします。これによって、XProtectシステムのデフォルト設定が有効になります。マッピングは、いつでも変更できません。</p> <p>ビルトインのイベントカテゴリは、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクセス拒否 • アクセス許可 • アクセスリクエスト • アラーム • エラー • 警告 <p>また、統合プラグインによって定義されるイベントやイベントカテゴリも表示されますが、独自のイベントカテゴリを定義することも可能です。ユーザー定義カテゴリを参照してください。</p> <div style="background-color: #f9e79f; padding: 10px; border: 1px solid #ccc;"> <p> XProtect Corporateでイベントカテゴリを変更する場合は、既存の入退室管理のルールが正しく機能していることを確認してください。</p> </div>

名前	説明
ユーザー定義カテゴリ	<p>ユーザー定義のイベントカテゴリを作成、変更、削除することができます。</p> <p>ビルトインのカテゴリが要件を満たさない場合は、イベントカテゴリを作成することができます。例えば、入退室管理のアクションをトリガーするイベントの定義と組み合わせることができます。</p> <p>カテゴリは、XProtectシステムに追加されたすべての統合システムにグローバルに適用されます。これにより、例えばアラーム定義など、システムをまたいだ操作の設定が可能になります。</p> <p>ユーザー定義のイベントカテゴリを削除すると、統合で使用されている場合には警告を受け取ります。それでも削除すると、たとえば入退室管理のアクションなど、このカテゴリで行ったすべての設定が機能しなくなります。</p>

アクセスリクエスト通知タブ（入退室管理）

所定のイベントが発生した際にXProtect Smart Client画面に表示されるアクセスリクエスト通知を指定できます。

名前	説明
名前	アクセスリクエスト通知の名前を入力します。
アクセスリクエスト通知を追加	<p>クリックして、アクセスリクエスト通知を追加、定義します。</p> <p>通知を削除するには、右側のXをクリックします。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin-top: 10px;">  <p>XProtect Smart ClientのユーザーがMilestone Federated Architecture 階層の親サイトへログインすると、子サイトからのアクセスリクエスト通知がXProtect Smart Clientにも表示されます。</p> </div>
アクセスリクエスト通知の詳細	所定のイベントが発生した場合、どのカメラ、マイク、スピーカーをアクセスリクエスト通知に表示するかを指定します。また、通知ポップアップが表示されるときにユーザーに警告する音声を指定します。
コマンドを追加	<p>XProtect Smart Clientのアクセスリクエスト通知ダイアログで、どのコマンドをボタンとして使用可能にするかを選択します。</p> <p>関連するアクセスリクエストコマンド</p>

名前	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ソースユニットで使用できるアクセスリクエスト操作に関連するすべてのコマンドを有効にします。例えば、ドアを開けるなどです。 <p>すべての関連コマンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ソースユニットで、すべてのコマンドを有効にします。 <p>入退室管理コマンド</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択した入退室管理コマンドを有効にします。 <p>システムコマンド</p> <ul style="list-style-type: none"> XProtectシステムで事前に定義されているコマンドを有効にします。 <p>コマンドを削除するには、右側のXをクリックします。</p>

カードホルダータブ（入退室管理）

カードホルダータブを使用して、入退室管理システムにおけるカードホルダーの情報を確認します。

名前	説明
カードホルダーの検索	カードホルダーの名前の文字を入力すると、存在する場合はリストに表示されます。
名前	入退室管理システムから取得したカードホルダーの名前を一覧表示します。
タイプ	<p>例えば以下のようにカードホルダーのタイプを一覧表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 従業員 警備員 来客

使用している入退室管理システムが、XProtectシステムでの写真の追加/削除をサポートしている場合、カードホルダーに写真を追加することができます。これは、入退室管理システムにカードホルダーの写真が含まれていない場合に便利です。



名前	説明
写真の 選択	<p>カードホルダーの写真ファイルへのパスを指定します。入退室管理システムが写真を管理している場合、このボタンは表示されません。</p> <p>使用できるファイル形式は、.bmp、.png、.jpgです。</p> <p>最大に表示されるように、写真はサイズ変更されます。</p> <p>Milestoneは、四角形の写真を使用することを推奨しています。</p>
写真を 削除	<p>クリックすると、写真を削除します。入退室管理システムに写真がある場合、削除後はその写真が表示されます。</p>

設定アクセスリクエスト

いくつかのタイプのアクセスコントロールイベントがあります。例えば**アクセス拒否**、そして**アクセス許可**といったものです。アクセスリクエスト通知を有効化するには、イベントの種類をイベントカテゴリー**アクセスリクエスト**と関連付けておく必要があります。デフォルト設定では、**アクセス拒否**は、**アクセスリクエスト**と関連付けられています：アクセスリクエスト通知は、誰かのアクセスが拒否された場合にのみ送られます。この設定を変更するには、本トピックにおける手順に従ってください。

要件： 現行のクライアントユーザーの役割において、通知を有効にします。そのためには、役割において、**アクセスコントロールイベント**タブをクリックし、**アクセスコントロールイベント**を選択した後、**通知を受け取る**チェックボックスを選択してください。

手順：

1. **サイトナビゲーション**ペインで、**アクセスコントロール**を選択します。
2. **アクセスコントロールイベント**タブの**アクセスコントロールイベント**カラムで、編集したいイベントタイプを見つけます。
3. イベントタイプにおけるアクセスリクエストを無効にするには、**イベントカテゴリー**カラムで  をクリックし、**アクセスリクエスト**チェックボックスを外します。
4. イベントタイプにおけるアクセスリクエストを有効にするには、**イベントカテゴリー**カラムで  をクリックし、**アクセスリクエスト**チェックボックスを選択します。
5. 変更を保存します。



helpfeedback@milestone.dk

Milestoneについて

Milestone Systemsはオープンプラットフォームのビデオ管理ソフトウェア（VMS）の世界有数のプロバイダーです。お客様の安全の確保、資産の保護を通してビジネス効率の向上に役立つテクノロジーを提供しています。Milestone Systemsは、世界の15万以上のサイトで実証された高い信頼性と拡張性を持つソリューションにより、ネットワークビデオ技術の開発と利用におけるコラボレーションとイノベーションを促進するオープンプラットフォームコミュニティを形成しています。Milestone Systemsは、1998年創業、Canon Group傘下の独立企業です。詳しくは、<https://www.milestonesys.com/>をご覧ください。

